

公認心理師必要科目と本学開講科目の読替表

(対象:2000～2015年度に人間科学研究科博士前期課程に入学し、2016年度までに修了した方)

2017年11月22日

大阪大学大学院人間科学研究科 公認心理師養成システム準備委員会

- ・記載内容に変更が生じた場合には、改訂する。
- ・下に注記された「X科目以上」とは、公認心理師必要科目における科目数を示す。  
公認心理師必要科目上、同じ数字(1,2,3,...)が付された本学開講科目を複数履修しても、公認心理師必要科目としては一科目とみなされる。

注) 厚労省HP「公認心理師法附則第2条第1項第1号から第4号までに規定する公認心理師になるために必要な科目の取扱いについて」を参照のこと。  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>  
以下、抜粋。

- (注1) I (1～5)については、1を含む3科目以上を履修する
- (注2) II (6～9)については、2科目以上を履修する。
- (注3) III (10)については、必ず履修する。ただし、施設の分野及び時間数を問わない。
- (注4) 一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として記入することはできない。

公認心理師必要科目	本学開講科目	備考
I 1 保健医療分野に関する理論と支援の展開	臨床死生学・老年行動学特講 I	2010年度以前に限る。
	臨床死生学・老年行動学特講 II	精神医学的または神経心理学的内容に限る。
	臨床死生学特講 I	
	臨床死生学特講 II	
	臨床死生学演習 I	
	臨床死生学演習 II	
	認知臨床心理学特定研究 I	
	認知臨床心理学特定研究 II	
	行動生理学特講 I	
	行動生理学特講 II	
	行動形態学特講 I	
	国際保健開発論特講	
	医療対人関係論	
	クニカザイコオコロジの理論と実践	
	テイスコミュニケーションの理論と実践	
臨床コミュニケーションII		
認知脳科学論		
I 2 福祉分野に関する理論と支援の展開	障がい児(者)心理学特講 I	「障害」の表記を含む。
	障がい児(者)心理学特講 II	「障害」の表記を含む。
	臨床死生学・老年行動学特講 I	2011年度以降に限る。
	臨床死生学・老年行動学特講 II	高齢者心理学的内容に限る。
	比較発達心理学特講 I	
I 3 教育分野に関する理論と支援の展開	教育心理学特講	2005年度を除く。
	教育心理学特定演習 II	2007～2010年度に限る。
	教育臨床心理学演習 I	
	学校臨床学特講	
I 4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	教育心理学特定演習 I	
	教育心理学特定演習 II	2007～2010年度を除く。
	教育心理学演習 I	2002年度以降の博士前期課程科目に限る。
	教育心理学演習 II	2002年度以降の博士前期課程科目に限る。
	教育臨床心理学演習 II	
	カウンセリング特講	2000年度に限る。
I 5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	社会心理学特講 I	
	社会心理学特講 II	
	対人社会心理学特講 I	
	対人社会心理学特講 II	

	環境心理学特講 I	
	応用認知心理学特講 I	
	適応認知行動学特講 I	
	適応認知行動学特講 II	2001, 2003, 2007年度を除く。
II 6 心理的アセスメントに関する理論と実践	人格心理学特講	
	人格心理学特講 I	2002～2004年度に限る。
	人格心理学特講 II	2004年度に限る。
	教育心理学特講	2005年度に限る。
	臨床心理査定演習 I	
	臨床心理査定演習 II	
	比較発達心理学特講 II	2016年度に限る。
II 7 心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特講 I	
	臨床心理面接特講 II	
	臨床心理面接特講	
	心理療法特講	
	カウンセリング 特講	2001～2004年度に限る。
	比較発達心理学特講 II	2015年度に限る。
II 8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	災害ボランティア論特講	
II 9 心の健康教育に関する理論と実践	キャリアデザイン特講	
III 10 心理実践実習	臨床心理実習 I	
	臨床心理実習 II	
	教育心理学特定研究 I	2008年度以降に限る。
	教育心理学特定研究 II	2008年度以降に限る。
	比較発達心理学特定研究 I	2008年度以降に限る。
	比較発達心理学特定研究 II	2008年度以降に限る。